

段取り八分(だんどりはちぶ)とは
— 12月中に来年の計画を立てよう—

開倫塾
塾長 林明夫

Q：段取り八分(だんどりはちぶ)とは何ですか。

A：(林明夫。以下省略)私の小学校と中学校の同級生で大工さんをしている渡辺茂さんから教わったことばです。家を建てる大工さんの仕事で大切なのは「段取り(だんどり)」、つまりものごとを段階を追ってやっていく手順である。Aという作業をしてそれが確実に終わってからBという作業をし、それが確実に終わってからCという作業をする。一つ一つの仕事を確実に終わらせてから次のステップに進む。上の階に行くときには階段を一步一步踏みしめて確実に上っていかなければならないように、大工さんの仕事は一つ一つの仕事を手順を追って確実に行うことが大事。

段取り八分というのは、仕事を始める前に段取り、つまり仕事の手順をよく考えておくことが大事で、よく段取りを考えておけば仕事の八割方は終わったと同じだという意味だと私は考えます。このように、大工さんの仕事は「手順」、どのように仕事をすすめるのかを頭のシンがいたくなるくらい考えに考え抜くことで結果が決まるということ、渡辺大工さんは私に教えて下さったものと思われまます。

Q：塾長は私たちに何が言いたいのですか。

A：勉強も同じだということです。どのような段取り、手順、段階を踏んで学んでいけば勉強の成果が出るのかを、自分自身でよく考えたらどうかということです。

新年になって今年はどうするかということを考えてもよいですが、段取り、つまり手順を考えて準備をスタートするのは新年を迎える前、つまり12月中がよいと私は考えます。

12月になったら新年の目標を決め、その目標達成のために新しい年はどのような段取りで過ごすのかをじっくりと考えましようね。

Q：新年の目標とその目標を達成するための段取り、つまり手順を考えるために具体的にはどのようにしたらよいのですか。

A：(1)まずは、今年一年はどうだったかを自分の力でじっくりと思慮深く振り返ること(自省すること)が大事です。人間として生きている上で大切なのは、「自省」、「省察」、「思慮深さ」です。しっかりとこの一年を振り返って下さいね。

(2)次に、来年はこんなことを成し遂げたいというゴール、つまり新年の「目標」を自分の力で立てましよう。勉強の面、生活の面、その他の活動の面と3つの面でゴール、目標を立てることを私はお勧めします。

(3)その一つ一つの面の目標、ゴールを達成するために来年1月からどうしたらよいかを、12

月中に腰を落ち着けてじっくり考えましょう。できればノートや紙を手元に置き、思いついたことや考えたことをどんどん書いてみましょう。

(4)大晦日の12月31日まで真剣に考え続け、除夜の鐘の音を聞きながら、また1月1日の元旦に清々しい気持ちで、新しいノートや手帳に決意をまとめるとよいでしょう。

(5)年が明けたら、そのノートや手帳を取り出して毎日じっくりとながめ、困難なことも多いかも知れませんが、なるべくその計画通り実行していただくことです。「段取り八分」、手順を十分な時間をかけて考え、確実に段階を上るようにその手順を踏みさえすれば、必ず目標は実現されます。

(6)目標を考え、その実現のための段取り、手順を考えない限り、目標が実現されることは絶対にありません。

Q：12月にした方がよいことは他にありますか。

A：「5S」活動をお勧めします。

Q：何ですか、その「5S」とは。

A：①整理、②整頓(せいとん)、③清掃(せいそう)、④清潔(せいけつ)、⑤躰(しつけ)のローマ字の頭文字の5つのS(エス)をとって「5S」といいます。

12月には、自分の部屋や自宅、お世話になっているところを整理、整頓、清掃をして清潔にして下さいね。身近な場所の「大掃除(おおそうじ)」をどんどんしてみましょう。自分も気持ちいいですし、皆さんから喜ばれますよ。

Q：「5S」の最後の「躰(しつけ)」とは何ですか。

A：「躰(しつけ)」が身につけているとは、①「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」と、②「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」ができることをいうのだと私は考えます。

「立居振舞い」には所作(しよさ)だけでなく服装や髪型、化粧なども含まれます。自分が見て美しいと思われるだけでなく、周りにいる人が見ても美しいことが大切です。

「敬語表現を含む言葉遣い」で大切なのは丁寧語、つまり「です・ます調」で丁寧(ていねい)に話すことができることだと私は思います。

Q：どうやってこの2つの「躰」は身につけたらよいのですか。

A：華道や茶道、弓道や剣道など日本に昔から伝わる文化・芸術活動、スポーツに親しむことです。

ヤンキースの松井秀喜選手をはじめ、感じのよい立居振舞いや言葉遣いを身につけた人を模範にすることも大事です。

言葉は言霊(ことだま)ともいい、人の心を表すものです。一つ一つの言葉を大切にすることも心掛けましょう。美しい文章を読むことも興味深いと思います。どうしたらよいか、自分でも考えて下さいね。

よいお年をお迎え下さい。

— 2009年11月19日記 —